



逸史 宝永四年(山口県文書館所蔵)

江戸御奉書控 宝永四年  
(山口県文書館所蔵)大坂御奉書控 宝永四年  
(山口県文書館所蔵)

発生年月日	宝永4(1707)年10月4日(新暦10月28日)午後2時頃
震源	南海トラフ
マグニチュード(推定)	8.6
各地の震度(推定)	震度7相当: 河内平野の一部 震度6強から6弱相当: 九州東部から甲信地域 (宇佐美ほか(2013):『日本被害地震総覧 599-2012』, 東京大学出版, 694pp.による)
被害の規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「公儀事諸控」に、萩藩で10月4日の地震では特に被害はなかったが、24日後の10月28日に上徳地村(現山口市徳地)で地震が起こり、建物289軒が倒壊し、死者が3人などの被害が出たと記されている。</li> <li>■「大坂御奉書控」「江戸御奉書控」に、徳山で、4日午後2時から5日朝まで度々揺れたが、建物の被害は少なく、夜中に津波が来たものの、人馬等の被害はなかったと記されている。</li> <li>■「逸史 宝永四年」には、他国と比べて、地震の被害は「百分一」、津波の被害は「十分一」と記されている。</li> <li>■「防州湯田村温泉記」に「大地震泉湯亦廢。寶永七庚寅之秋注出如前焉」とあり、湯田温泉で、宝永地震の際に、温泉の湧出が3年にわたって止まったと記されている。</li> </ul>
被害の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 山口県では、24日後の10月28日には誘発地震とみられる地震が発生し、死者が出た。</li> <li>■ 津波が発生し、九州東南部から伊豆、房総半島までの太平洋沿岸の広い範囲に大きな被害を与えた、また、地震の49日後に富士山が噴火した。</li> <li>■ 過去、南海トラフで発生した5地震(明応・慶長・宝永・安政・昭和)の中でも最大規模であり、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生までは、国内で発生した史上最大規模の地震とされている。</li> </ul>



なんかい 南海トラフで起きる地震は、概ね100~150年で繰り返されているんだ。  
かこ 過去に起きた大地震を学び、次に起こる大地震に備えよう。

## 関係する伝承



やないしひづみ ほうえいじしん ゆ かわごいし  
柳井市日積に、宝永地震の揺れで「革籠石」という石が割れたと伝えられているよ。

### 革籠石〈柳井市日積〉

「玖珂郡日積村瑞雲寺近邊革籠石（かはごいし）あり。傳へ言ふ。寶永四年十月四日の夜大地震にて此岩鳴動して割れ、其中より金鶏飛出で向ひの民家に入る。其年より此家裕福になり、今に鶏は見えねど大晦日には鶏鳴の聲聞ゆと云へり。其由來は昔し敗軍の士自殺するに當り名劍を巖石の下に隠し置き、我子の搜索に便せん爲、鶏を革籠に入れて水をも添へ同所に置いて、其鳴聲を槩に取出さしめんとしたるも、餘りに日數を経鶏は革籠の中に死して、可惜名劍も遂に其所在を失ひしが、端なくも地震によりて其巖石は破裂し、鶏の亡魂は空隙を得て飛行して民家に入り、年々時を違へず鳴くと云へり。」『防長地名淵鏡』 御蘭生翁甫 1931、（復刻版）マツノ書店 1984

**訳** 日積村にある革籠石から金の鶏が出てきて、民家を裕福にしたという言い伝えがある。昔、戦争に敗れた兵士が自決する際に隠した名剣を息子に見つけさせるために、鶏を革の籠に入れておいたが、結局剣はなくなり鶏も死んでしまった。しかし、その後の地震で割れた岩から鶏の魂が飛び出して民家に入り、大晦日になると決まって鳴くのだと伝わっている。



やまぐちし ゆだおんせん ほうえいじしん  
山口市の湯田温泉に、宝永地震のときに温泉が出なくなり、3年後の秋に以前のように温泉が湧き出るようになったという話があるよ。

### 地震るい、泉湯廃す〈山口市湯田温泉〉

「然亦寶永四丁亥年十月、大地震泉湯亦廢。寶永七庚寅之秋注出如前焉。呼呼、此泉靈哉。神哉。俛興俛廢。此天運自然之盛衰神所以示人存亡之道也。即是三所權現所受之靈液而藥師佛亦以神之託乎。」『防州吉敷郡湯田村温泉記〜藥師仏と白狐のものがたり』より（荒巻大拙 2000）



湯田温泉

**訳** 宝永4年10月、大地震が起こり温泉の湯はすっかり涸れたが、宝永7年秋、以前のように温泉が湧き出るようになった。自然の盛衰のあらわれであろうか。天が人間に存亡の道を示しているのか。

## トピックス

### 緊急地震速報



気象庁は、地震が発生したら地震計でとらえたデータから、震源、地震の規模（マグニチュード）、震度を解析して、最大震度が5弱以上と予想した場合は、緊急地震速報をテレビやラジオなどを通して発表するんだよ。なお、震度6弱以上の揺れを予想した緊急地震速報（警報）は、地震動特別警報に位置づけられているんだ。

※緊急地震速報を発表してから地震のゆれが来るまでの時間は、長くても数十秒と大変短いので、緊急地震速報を聞くよりも早くゆれが起きてしまうことがある。